

やる気発生装置

教室通信 Vol. 3016

R 8. 2. 13

個別指導教室

セカンド・キャンパス

075-711-0399

<https://www.second-campus.com/>

中学(1,2年)				高校(1,2年)			高校入試
修学院	高野	近衛	加茂川	京都工学院	堀川	紫野	公立前期
2/16~	2/18~	2/18~	2/18~	2/25~	3/3~	2/26~	
第4回定期テスト	学年末テスト	第4回定期テスト	第4回定期テスト	学年末考査	学年末考査	学年末考査	2/16
あと3日	あと5日	あと5日	あと5日	あと12日	あと18日	あと13日	あと3日

公立入試を前に・古いものへの思い

週が明けると、さっそく公立高校の前期選抜入試があります。この制度で行われる最後の入試ということになり、制度上、これを受けに行く受験生は誰しも第1志望校に挑むわけです。他地域の塾や私学の先生と話すとき、よく「左京区はどうも公立志向が強いみたいなんですね～」という話になるんですが、今年の当塾もやはり、私立に受かった人たちもみな公立入試に向けて準備を続けているという状況です。公立・私立どちらをメインに選ぶのかは、地域のカラーや、そこから通いやすい場所にどんな高校があるかということに左右されるのだろうなとは思いますが、僕もはつきりした説明はできません。それぞれの生徒さんが様々な条件を考えて一番行きたい学校を選び、それが叶うように努力を続けています。塾としてはそれを応援するばかりです。

「私は校舎が新しくてキレイだからな～」とは、よく言われます。私立・公立限らず、たくさんの学校を見学させて頂いていますが、新しく改築された校舎の立派さ、設備の充実ぶりに目をみはることが多いです。そうした環境を羨ましいなども思いつつ、古い校舎の一角にカメラを向けることもあります。長い年月、そこで学ぶたくさんの人達を見守ってきた学び舎にはやはりさまざまな思いが詰まっていて、その良さはとりわけ卒業した後によく分かるものなんです。通常、校舎が新しくなると、卒業が近い上級生の教室を新校舎に優先して入れることが多いですが、なかには高3生の教室をいちばん歴史ある昔ながらの校舎に入れて、そこで思い出を作ってもらうという学校もあるようです。未来に向かって生きていく者として、新しいものに希望を見出すことは大切ですし、そのために古いものを処分することも必要ですが、古いものがもつ良さや込められた思いはしっかりと大切にしていきたいです。当塾の教室にある机も古いものは1999年に購入しましたからだいぶ年月が経っていますが、みんな大事に使ってくれています。ありがたいことです。



色々と新しいものに切り替えていく季節になりますが、そんなときだからこそ、古いものの良さを実感することも多いです。

当面の教室予定

2/13(金)

16:00~22:00

2/14(土)

10:00~12:00

16:00~22:00

2/15(日)

16:00~21:00

2/16(月)~2/18(水)

★早朝学習会あります★

7:00~8:10

16:00~22:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させて頂きます。

※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。

来週2/16(月)のテスト

学校/学年	教科
修学院	1